

「林地残材等を利用した発電用燃料の製造」を目的とした
木質ペレット製造会社の設立について

国内の森林は、住宅着工戸数の減少や安価な輸入材の影響等から国内産木材の価格と流通量が低位に推移しているため、適正な管理が困難な状況にあり、森林の有する公益的機能の発揮や資源の循環利用も支障が生じております。

今般、未利用となっている国内林地残材等の有効活用、再生可能エネルギーの開発・導入の観点から、国内の林地残材等を発電用燃料として活用することを目的として、木質ペレット^①を製造する新会社を宮崎県の「森林整備加速化・林業再生事業」の支援を得て、宮崎県森林組合連合会と電源開発(株)との共同で宮崎県小林市に設立することとしました。

電源開発は、石炭火力発電所から排出される CO₂ の削減を目的として、バイオマス燃料の石炭との混焼利用について積極的に取り組んでおり、小林市で製造するペレットは、一般社団法人新エネルギー導入促進協議会の「平成 21 年度林地残材バイオマス石炭混焼発電実証事業（経済産業省補助事業）」に使用します。

(^①)木質ペレット：木を粉碎・乾燥・圧縮しペレット状に成型したもの。

○木質ペレット製造新会社の概要

- (1) 会社名 : 宮崎ウッドペレット株式会社
- (2) 所在地 : 宮崎県小林市
- (3) 資本金 : 3 億円（電源開発株式会社と宮崎県森林組合連合会との共同出資）
- (4) 事業内容 : 林地残材等を使用した木質ペレットの製造・販売事業
林地残材等は、宮崎県森林組合連合会が供給
- (5) 設備規模 : 林地残材等受入可能量 8 万 m³/年
ペレット製造能力 25,000 ton/年
- (6) 建設期間 : 平成 22 年度
- (7) 運用開始 : 平成 22 年度末

○「林地残材バイオマス石炭混焼発電実証事業」の概要

- (1) 事業概要 : 林地残材等をペレットに生成し、石炭火力発電所にて石炭とともに発電用ボイラで混焼する実証事業
- (2) 実施場所 : 松浦火力発電所（100 万 kW×2 基）
- (3) 事業期間 : 平成 21 年度～平成 22 年度
- (4) 実証規模 : 平均混焼率（見込量） 約 0.4 %/年（石炭との発熱量比）
CO₂ 削減効果（見込量） 約 4 万 t-CO₂/年
バイオマス発電電力量（見込量） 約 4,500 万 kWh/年
- (5) 運用開始 : 平成 22 年度末

以 上